

令和5年度第10回ヨコハマeアンケート 広報よこはま市版に関するアンケート

実施期間 令和5年8月18日（金）から8月28日（月）

事業所管課 政策局 広報課

回答者数 1,209人（回答率：25.1%）

【参考】eアンケートメンバー数 4,818人（8月18日時点）

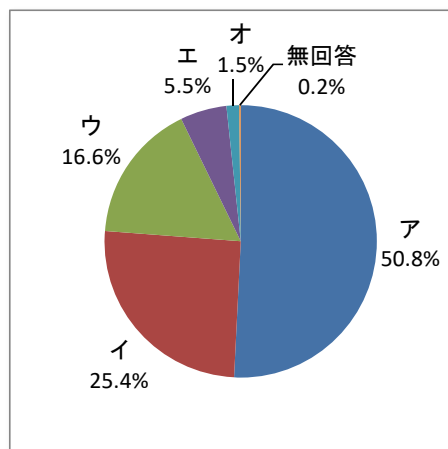
年代別、横浜市内在住・在勤・在学別の回答者構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
横浜市内在住	0 (0.0%)	19 (1.6%)	82 (6.8%)	193 (16.0%)	352 (29.1%)	304 (25.1%)	251 (20.8%)	1,201 (99.3%)
横浜市内在勤	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	3 (0.2%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	7 (0.6%)
横浜市内在学	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)
計	0 (0.0%)	20 (1.7%)	83 (6.9%)	194 (16.0%)	355 (29.4%)	305 (25.2%)	252 (20.8%)	1,209 (100.0%)

Q1 「広報よこはま」をどのくらいの頻度で読んでいますか。
(単一選択)

n = 1,209

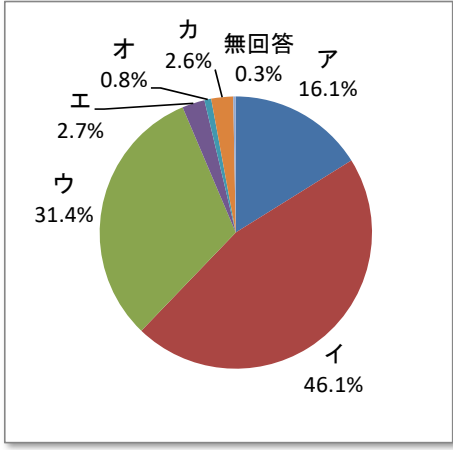
ア	必ず毎月読む	50.8%	615
イ	ほとんど毎月読む	25.4%	307
ウ	たまに読む	16.6%	201
エ	ほとんど読まない	5.5%	66
オ	読まない	1.5%	18
無回答		0.2%	2
		100.0%	1,209



Q2 「広報よこはま」8月号の市版紙面(表紙から4面まで・13面から16面まで)についてお聞きします。字の大きさ・デザイン(写真・イラストを含む)・レイアウトなどは読みやすいですか。(単一選択)

n = 1,209

ア	とても読みやすい (Q4へ)	16.1%	195
イ	まあまあ読みやすい (Q4へ)	46.1%	557
ウ	普通 (Q4へ)	31.4%	380
エ	少し読みにくい (Q3へ)	2.7%	33
オ	とても読みにくい (Q3へ)	0.8%	9
カ	その他 (Q3へ)	2.6%	32
無回答		0.3%	3
		100.0%	1,209



その他(抜粋)
 文字が小さい記事が一部あった。

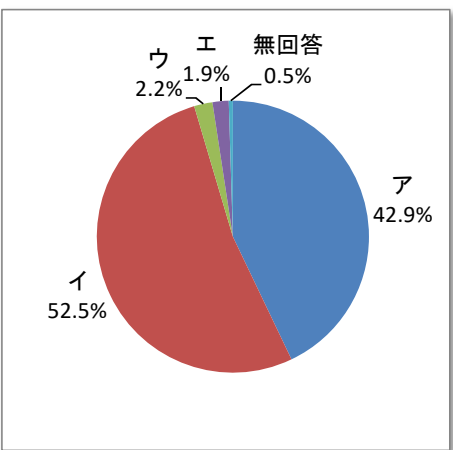
Q3 Q2で「エ 少し読みにくい」「オ とても読みにくい」「カ その他」と答えた方にお聞きします。改善についてご意見があればお教えてください。(自由意見)

(抜粋)
 活字の大きさが小さい。色が薄い。
 視認性をあげ、文字数が少ない方が、手に取りやすいと思う。また、生活に具体的にかかわる部分は、もっとページをさいてもらえるとありがたい。

Q4 記事のタイトル、文章はわかりやすいですか。(単一選択)

n = 1,209

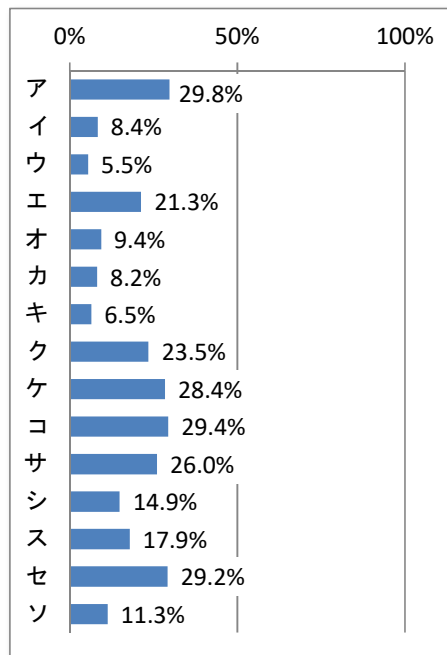
ア	わかりやすい	42.9%	519
イ	普通	52.5%	635
ウ	わかりにくい	2.2%	27
エ	その他	1.9%	22
無回答		0.5%	6
		100.0%	1,209



Q5 「広報よこはま」8月号市版の中で役に立ったものや興味・関心をもった記事を3つまで選択してください。
 ※「ソ 特になし」を選択した場合、他の回答は選択しないでください。
 (複数選択可:3つまで)

n = 1,209

ア	表紙～2面 小児医療費無料化スタート!	29.8%	360
イ	表紙 市長コラム	8.4%	102
ウ	3面 マイナンバーカードの申請後、受取を忘れていませんか	5.5%	67
エ	3面 敬老パスの更新手続き	21.3%	258
オ	3面 特別市コラム	9.4%	114
カ	4面 市役所供用開始3周年	8.2%	99
キ	4面 部落差別(同和問題)を考える	6.5%	78
ク	4面 新型コロナワクチン情報	23.5%	284
ケ	13～14面 はま情報	28.4%	343
コ	14面 横浜彩発見「夜の動物園が楽しめる『ナイトズーラシア』」	29.4%	356
サ	15面 関東大震災から100年	26.0%	314
シ	15面 大雨の際には川の増水に注意しましょう	14.9%	180
ス	15面 アプリ「横浜市避難ナビ」を活用しましょう	17.9%	216
セ	16面 よこはまがポケモンでいっぱい	29.2%	353
ソ	特になし	11.3%	137



Q6 Q5で選んだ内容の感想・ご意見をお聞かせください。
 (自由意見)

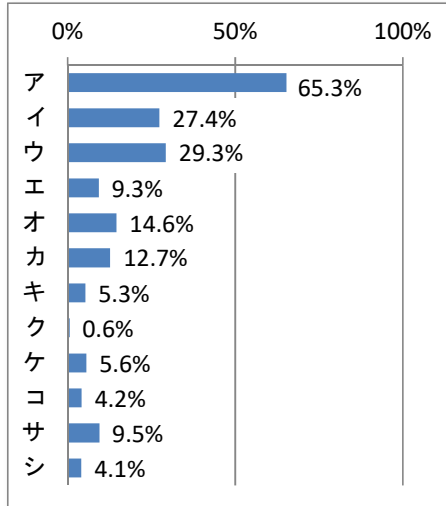
(抜粋)

小児医療費無料化は子育て世代にとって非常に重要なニュースなので、紙面の1ページ目に大きくわかりやすく書いてあってよかったです。【Q5で「ア」を選択】
「はま情報」は各施設(横浜市はもっと施設があると思うが)からの情報がもう少し増やしてもらってもよいと思う。せっかくの企画があつて見逃してしまうことがある。市民対象の講演会や様々な横浜市が企画している募集はスペースが限られているのですべての掲載は難しいだろうが、もっと充実してもらえると、市民も選択の幅が広がる。【Q5で「ケ」を選択】
ナイトズーラシアには是非行きたかったので、情報提供いただきありがとうございました。【Q5で「コ」を選択】
ポケモン情報で知らなかった情報があつたので嬉しかった。【Q5で「セ」を選択】
どの記事も簡潔に纏められていて読みやすい。一般に参加できるイベント情報が増えると嬉しい。子供にも理解してもらいやすいように図解などが増えたら有難いと思う。【Q5で「ケ」を選択】
子供の事や、生活に関わる必要な情報が、わかりやすく掲載されているので、読みやすく活用しやすい。イベント情報はなかなか入手する先少なく、こちらで知れてありがたい。【Q5で「コ」を選択】
色分けやカテゴリー分けで見やすい。はま情報もバラエティ豊かで、講座や求人など意外な発見もある。【Q5で「ケ」を選択】

Q7 現在の「広報よこはま」について、どのような印象をお持ちですか。
 ※「サ 特になし」を選択した場合、他の回答は選択しないでください。
 (複数選択可)

n = 1,209

ア	生活に役立つ	65.3%	789
イ	親しみやすい	27.4%	331
ウ	わかりやすい	29.3%	354
エ	楽しい・面白い	9.3%	113
オ	写真やイラストが多く読みやすい	14.6%	177
カ	自分に関係のない記事が多い	12.7%	154
キ	内容が固い	5.3%	64
ク	難しい	0.6%	7
ケ	つまらない	5.6%	68
コ	文字が多い	4.2%	51
サ	特になし	9.5%	115
シ	その他	4.1%	49



その他(抜粋)

詳細は「ホームページで」が多く、不親切。
横浜に関して興味のある情報は各種サイトやSNSを通じて日々知ることができる。一方、横浜市として広報する出版物等を見ることで、「いま横浜は何に力を入れたいのか」を知ることができる。「横浜は今後どのような方向に進んでいくのだろう」と考えるうえで参考になると感じる。
市政の動きを知る手段として、重宝している。
募集や公共イベントなどの情報が集約されていて便利。

Q8 Q7で選んだ理由をお聞かせください。
 (自由意見)

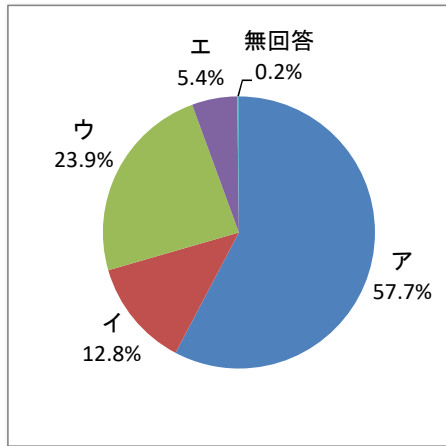
(抜粋)

「生活に役立つ」こともあるし、「自分に関係のない記事が多い」こともあるけれど、情報を得ることによって広がる知見や必要としている誰かに伝えることもできるので、今の横浜を広報してくれるのはありがたい。【Q7で「ア」、「カ」を選択】
いろいろな意見や知識を持っている人が読むので、全体が平板な印象をうける。告知事項、いわゆるお知らせ記事はさらに簡略化していいと考える。例えば、市職員募集の告知があったとすると、その情報に興味がある人は細かく知りたいですが、興味のない人にとってはタイトルだけで十分。自分が興味のある募集か、自分がその対象か、QRコード、など最低の内容にする工夫してほしい。【Q7で「ケ」を選択】
親しみにくい。とても大切な情報が多いのに、読みにくさ、分かりにくさを感じる。【Q7で「ア」、「キ」、「ク」を選択】
わざわざ探しに行かないと入手し難い情報も多々であり、様々な公的分野情報を得る為に非常に有効と感じる。その反面で、当然に自分にとって無関係／無関心な情報もあるのは仕方ない【Q7で「ア」、「ウ」、「オ」を選択】
市政や取り組みを知る上ではとても役に立つが、若年層が見るには各トピックの内容が固く、手に取るハードルが高いと感じる。前月(7月号)や今回のように、ポケモンなど若年層が親しみやすいコンテンツが取り上げられていると見るきっかけになるが、そうでないとなかなか興味を持ちづらい構成になっていると感じる。また、年配者や子育て世代向けの情報が多いイメージ。【Q7で「ア」、「キ」を選択】
情報発信としてはいいと思うが、子育て世代、シニア世代、現役世代、生活困難者等枠組みをまとめて、大きな見出しで括って掲載してもらえると若い人たちも読むと思うのではないか。【Q7で「ア」、「カ」、「コ」、「シ」を選択】

Q9 「広報よこはま」はウェブサイトでの閲覧や無料アプリ「カタログポケット」での閲覧も可能になっています。現在発行している紙媒体の必要性についてどう思いますか。
【カタログポケットURL】
<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/koho/insatsubutsu/koyoko/shiban/catalogpocket.html>
 (単一選択)

n = 1,209

ア	紙媒体は今までとおり各家庭に配布すべきである。	57.7%	697
イ	インターネットやスマートフォンなどで閲覧できれば、紙媒体は必要ない。	12.8%	155
ウ	紙媒体は公共施設や駅などに配架して、欲しい人だけ入手できればよい。	23.9%	290
エ	その他	5.4%	65
無回答		0.2%	2
		100.0%	1,209



その他(抜粋)

「紙媒体は今までとおり各家庭に配布すべきである」とまでは思わないが、紙媒体があった方が読みやすい。わざわざネットで広報よこはまにはアクセスしないと思う。

メールマガジンなどプッシュ型で配信されるのであればデジタルデータでも構わない。単にWebサイトで公開するのみの場合は見忘れなどが発生し、広報としての役割を果たさないため、プッシュ型で無いなら従来通り紙媒体で良い。

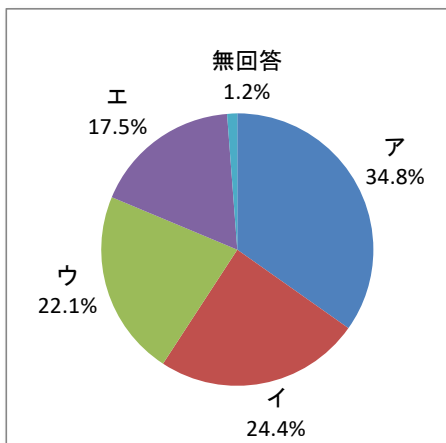
概ね選択肢の「イ」に賛同だが、アクセスが困難な方への配慮は必要。

「広報よこはま」をウェブサイトのみでの閲覧はネット環境のない人には閲覧が出来ない。また、紙媒体を公共施設や駅などに配架しても公共施設まで行けない人がいるかもしれないので、今までどおり各家庭に配布すべきである。

Q10 イベントや募集などの情報が増えており、「広報よこはま」の「はま情報」ページにすべてのお知らせを掲載することが困難になっています。今後、どのように掲載するのがよいと思いますか。
 (単一選択)

n = 1,209

ア	「はま情報」ページはそのままにし、対象人数の少ないイベントや講座などは省略する。	34.8%	421
イ	「はま情報」ページは廃止し、イベントや募集などの情報は市ウェブページで配信する。	24.4%	295
ウ	特集やトピックスなどの記事ページを減らし、「はま情報」ページを増やす。	22.1%	267
エ	その他	17.5%	212
無回答		1.2%	14
		100.0%	1,209



その他(抜粋)

ページを増やして対応してもらえるとありがたい。目にする機会を市民に与えるのも広報誌の大切な役目のひとつと思う。

掲載枠で可能な範囲で広報よこはまに掲載し、市ウェブサイトですべてを掲載する。広報よこはまには、誘導URLを記載するなど。

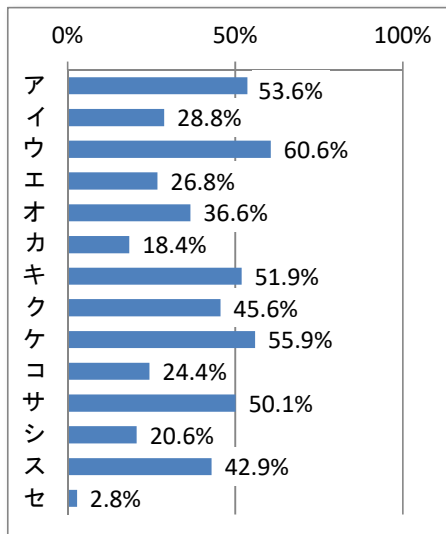
見出し程度にしておき、QRコードを載せてアクセスしやすいようにするしかないと思う。安全や人権にかかわる情報と、イベント告知などの情報の優先度をまちがいないようにすべき。イベント告知などはSNSなどを通じて知ることもできるから。

情報件数はそのままに、詳細などはWebに飛べるようにQRコードやホームページにまとめて載せるなどをして紙面ボリュームを下げたらどうか。

Q11 「広報よこはま」で扱ってほしい情報はどのようなものですか。(複数選択可)

n = 1,209

ア	市の事業の紹介や制度の解説などについて	53.6%	648
イ	中期計画や予算・決算、税金など	28.8%	348
ウ	市の施設の紹介や利用方法など	60.6%	733
エ	育児・教育など子育て支援に関する情報	26.8%	324
オ	認知症予防・介護など高齢者支援に関する情報	36.6%	442
カ	障害者支援に関する情報	18.4%	222
キ	講座・講演などのイベント情報	51.9%	628
ク	レジャー・観光施設などの観光情報	45.6%	551
ケ	防災・減災などに関する情報	55.9%	676
コ	歴史・人物紹介などの読み物	24.4%	295
サ	健康・医療に関する情報	50.1%	606
シ	環境・SDGsなどに関する情報	20.6%	249
ス	地域情報・地域の活動紹介	42.9%	519
セ	その他	2.8%	34



その他(抜粋)

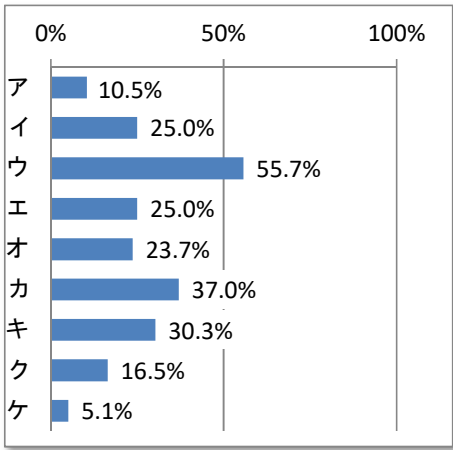
選択肢「ア」、「イ」については、通り一遍の紹介ではなく、きちんとわかりやすく解説も含めて紹介・説明するべき。そういう姿勢が広報を身近に感じさせ「読みたい」と思わせることにつながる。

困りごとを解決できるような情報。行政を必要としている人たちへの支援を充実させてほしい。

Q12 1月号から8月号までの特集の中で、よかったものを3つまで選択してください。1月号からの紙面はこちらを御覧ください。
【広報よこはま市版(2023年版)URL】
<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/koho/insatsubutsu/koyoko/shiban/2023nen.html>
 (複数選択可:3つまで)

n = 1,209

ア	1月号:新春対談 笑顔あふれる新しい年に	10.5%	127
イ	2月号:中学校給食	25.0%	302
ウ	3月号:相鉄・東急直通線開業	55.7%	674
エ	4月号:子育て特集「横浜市は8月からすべての中学生までの医療費を無料にします」	25.0%	302
オ	5月号:自治会町内会	23.7%	286
カ	6月号:風水害対策	37.0%	447
キ	7月号:ポケモンが横浜にやってくる	30.3%	366
ク	8月号:小児医療費	16.5%	200
ケ	どれもよくなかった	5.1%	62



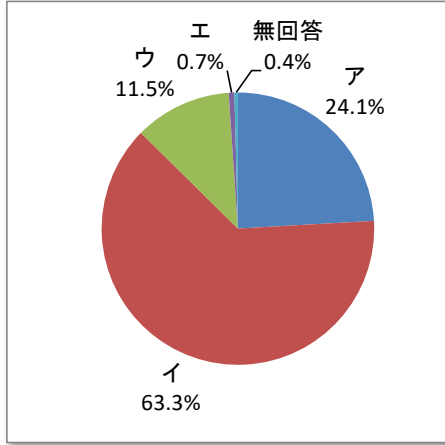
Q13 Q12で選んだ理由をお聞かせください。
 (自由意見)

- (抜粋)
- 子供が大きくなり、介護もまだのため日常生活に関する情報を読んでいる。行政の施策はテレビで報道されるわけではないので、この紙面で知るチャンスしかない。この誌面でアプリの存在を知り、入手経路が増えた。【Q12で「ウ」、「カ」、「キ」を選択】
 - 自分にとって身近な記事だから。【Q12で「ウ」、「オ」、「キ」を選択】
 - 人それぞれ生活のステージで知りたい情報や興味が違うので、幅広い内容を取り上げてほしい。より詳しい内容を知りたい場合 ということ、ネットの案内をQRコードなどが載せてあるなら、誌面にはそんなに詳しく載ってなくてもよいと思う。【Q12で「イ」、「ウ」、「キ」を選択】
 - 町内会の活動や、街の特性に即した減災は、ローカルで公共性の強いメディアでしか得られない情報だと思うので、「広報よこはま」らしさが出ている。【Q12で「ウ」、「オ」、「キ」を選択】
 - 特集は特集で良いと思うが、横浜市が抱えている問題、検討中の問題の進捗、進む方向性 と言うものを情報として提供して欲しい。いつも、唐突的な「結果」のみをお知らせしている様な感じがする。【Q12で「オ」、「カ」を選択】

Q14 令和5年になってから、「広報よこはま」を読んで実際に参加したイベントや、取り組んでみたことなどはありますか。
(単一選択)

n = 1,209

ア	ある (Q15へ)	24.1%	291
イ	ない (Q16へ)	63.3%	766
ウ	わからない (Q16へ)	11.5%	139
エ	その他 (Q16へ)	0.7%	8
無回答		0.4%	5
		100.0%	1,209



その他(抜粋)

興味ある医療講座があれば参加するつもり。

Q15 Q14で「ア ある」と回答した方にお聞きします。「広報よこはま」を読んで、取り組んでみたことがありましたらお聞かせください。
(自由意見)

(抜粋)

イベント、講習、講座などへの参加。

環境問題、資源に関することで自宅で行えること。

防災に関する事前準備。

**Q16 広報よこはまについて自由な感想をお聞かせください。
(自由意見)**

(抜粋)

QRコードが載っているので関心のある情報にアクセスしやすくてよいと思う。QRコードで詳細が見られるので文字数がへり記事がすっきりし、記事タイトルで必要な情報を探しやすくなったので以前より広報全体を読むようになった気がする。しかし、スマホを使いこなせない高齢者が必要な情報を得られているのか心配。

WEBでの閲覧は資源節約の問題からも必要だとは思うが、全ての市民がアクセスできるものではないので紙媒体を完全に無くすのは推奨できない。駅や商店街など利用客数の多い場所のスタンドへの設置配布は市民以外の人への横浜市の魅力を知らせる為にもなるものだと思う。欲しい人だけが手に取るという考えではない。

イベントの広報は他にも手段がある。面白味があるなしでなく、議会や市政運営について、知らせるのが広報誌の役割だと思う。

おそらく多くの家庭では届けられたものが、直ちに、または速やかに廃棄されていると思う。昔と異なり、伝達的手段は色々あるので、印刷や、配達にかかる費用は新たな手段に振り分けられた方が環境にも、市民サービスの向上としても良いと思う。イベント情報などは、インターネットで行われているので、市の広報で多くを取り上げる必要は無いのではないか。公共の物なので、面白さよりも、必要な方に効率よく確実、経済的に伝達出来るかか必要だと思う。

このようなアンケートを1回/年実施して、次年度の取り組みに反映させてほしい 年々世代や住民感情もかわりアンケートでそのような実態を把握して より良い広報にしていってほしい。

家庭への配布は、自治会の負担になっており大変だと思うが、高齢者にとっては貴重な情報源になっており今後とも継続していただきたい。

見ない人にも配る紙や経費は無駄。ネット配信を前提として、ネット環境のない必要な人にだけ紙媒体で配布すればいい。とにかく無駄な排除に努めてほしい。

市民に情報を周知させるためには必要だと思う。ウェブ等にした場合、自分からあえて見に行く人しかアクセスしなくなると思うので紙媒体で配布するしかないのかなと思う。イベント情報等はインターネット掲載にしてQRコード等で簡単にアクセスできれば十分だと思う。

紙面廃止/ウェブ化が多い現状ではあるが、ウェブページは自ら検索・見に行くことで得られる情報であり、逆に目的が無いと見に行かない=情報を得られないので、紙面で配布されるとそれがきっかけで知り得る/気が付く情報も多々であるから、紙面継続は価値が高く思える。もちろん市民全員がウェブ環境に慣れている訳でもなく、ウェブ環境が無い場合には完全なる蚊帳の外で切り捨てになりかねない。